



養老公園県営化100周年・都市公園制度制定150周年記念

# 古の伝承 幽玄の世界へ

# 新能



日時 / 令和5年10月21日 土  
17:00開場 18:00開演  
場所 / 養老公園 第3駐車場  
特設舞台

※演能中に雨が降った場合は終演とします。

雨天時 / 養老町民会館 養老郡養老町石畑483-2

※会場変更の場合は、当日の12時までに決定し養老公園HPにてご案内します。

## 入場無料

観覧席(500席)  
全席自由席

※ただし、事前申し込みが必要です。

WEBで  
お申し込みは  
こちら



ハガキでお申し込み は本チラシ裏面をご確認ください。

### 演目

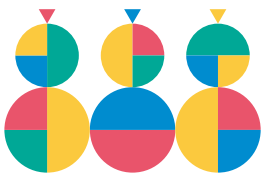
狂言 「棒縛」  
井上松次郎  
鹿島俊裕  
今枝郁雄  
他

能 「養老」水波之伝  
久田勘鷗  
上野雄介  
久田三津子  
橋本宰  
他

初めての狂言 能  
観覧してみませんか?

上演前に  
演者による  
前解説有り

- 出演者は、都合により変更になる場合があります。
- 写真・ビデオの撮影及び録音(携帯電話の機能も含む)は、禁止しております。
- 上演中の会場内でのお食事は禁止とさせていただきます。



地球にふれるヨロコビ!  
**養老公園**  
YORO-PARK

主催 岐阜県

後援 養老町、養老町観光協会  
養老町教育委員会  
養老鉄道株式会社

アクセス

- 自動車 / 養老I.C.から約10分  
大垣I.C.から約20分  
関ヶ原I.C.から約25分
- 鉄道 / 養老鉄道養老線養老駅下車  
(大垣-養老駅25分)徒歩約10分

★ご来園には養老鉄道をご利用ください。

お問い合わせ 養老公園事務所  
岐阜県養老郡養老町高林1298-2  
●お問い合わせ / TEL.0584-32-0501  
お問い合わせ時間 9:00~17:00

\*Facebook...養老公園  
\*インスタ...hantenchi\_yoropark  
\*HP...養老公園  検索



※天候等により臨時閉園の場合があります。また、イベント内容は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。※掲載写真・イラストはイメージです。

10月21日 土  
令和5年

開場/17:00 開演/18:00

場所/養老公園 第3駐車場 特設舞台 ※演能中に雨が降った場合は終演とします。

雨天時/養老町民会館 養老郡養老町石畑483-2

※会場変更の場合は、当日の12時までに決定し養老公園HPにてご案内します。

養老

新能

■ 棒縛 (ぼうしばり)

流行酒好きな太郎冠者・次郎冠者、二人の召使いは主人が留守になるたびに酒蔵へ忍び込んで盗み酒をする始末。この事を知りつつ今日も外出する予定の主人は、一計を案じてまず次郎冠者を呼び出し、最近棒の手(=護身術)の稽古をしている太郎冠者にその型をさせ、隙を見て縄で括りつけようと提案します・・・。

■ 養老 (ようろう) 一番目物

【あらすじ】

頃は初夏、美濃国(岐阜県)本巢の郡に霊水が湧き出るという報告があったので、雄略天皇の勅命を受けて、勅使が下向します。一行が養老の滝のほとりに着くと、老人と若者の二人の樵夫が、来かかります。勅使は、これこそ話に聞く養老の親子であろうと思って尋ねると、果たしてそうでした。老人は、問われるままに、養老の滝と名づけられたいわれを物語ります。ついで老人は、勅使をその滝壺に案内し、霊泉をほめ、更に他の霊水の例を挙げつつ、この薬の水の徳をたたえます。すべてを見聞した勅使は、感涙を流し、この由を奏聞しようと帰洛しかけると、にわかにかから光がさし、花が降り、音楽が聞こえ、ただならぬ様子となります。〈中入〉そこへ、所の者が出て養老の滝のいわれを語り、滝の水を飲んで、若返りの様を見せます。ついで、養老の山神が出現し、清らかな水をたたえ、神仏はもとより同体であり、共に衆生を救おうとの御誓願であって、時として神と現じ仏と現れ給うのであると述べます。そして峰の嵐や谷川の音を音楽として舞を奏し、泰平の世を祝福して、神の国へと帰ってゆきます。

【みどころ】

聖代の奇跡を寿ぐのが主題です。本来の脇能の約束である神社の縁起を説くのではなく、霊泉の物語を脚色したもので、面白く見せようとする工夫がなされています。異色ではありますが、作者世阿弥としては、相当自信があったようです。後世になると、養老の滝は、孝行の徳で酒になったという点が強調されますが、能では「仙家の薬の水もかくやと思」われる不思議な水だとし、親孝行を押しつけるような教訓的なところはありません。

今回、小書の「水波之伝」の演出では前文の〈中入〉で所の者は出ず、ツレ(男)が退場後すぐに天女が登場して、後シテの山神が出現する前に天女之舞が舞われる特別演出になります。

【備考】

霊泉出現によって、霊龜3年11月、「養老」と改元されました。717年のことです。

■ 演目 狂言「棒縛」

シテ(太郎冠者)  
アド(次郎冠者)  
アド(主人)

井上松次郎  
鹿島 俊裕  
今枝 郁雄  
他



久田勸鷗(ひさだかんおう)  
シテ方観世流能楽師  
重要無形文化財(総合指定)保持者  
公益財団法人 能 姫町財団 理事長  
一般社団法人 日本能楽会 会員  
公益財団法人 能楽協会 名古屋支部 相談役  
名古屋観世会 代表  
久田観正会 主宰  
中部大学客員教授

能「養老」

水波之伝

シテ  
前ツレ  
後ツレ  
ワキ

久田 勸鷗  
上野 雄介  
久田三津子  
橋本 幸  
他

当日スケジュール

17:00 開場  
18:00 開演  
}   
20:00 終演  
※予定

入場無料  
観覧席  
(500席)  
全席自由席  
事前申込が必要です

当日立ち見エリア  
もあります。

お申し込み方法

WEBでお申し込み

下記のQRコードよりアクセスしてください。



お申し込みはこちら



ハガキでお申し込み

ハガキに  
氏名・郵便番号・ご住所・電話番号・メールアドレス(任意)  
ご一緒に観覧の方がいらっしゃいましたら  
人数 をご記入ください。  
1枚で合計4名様までお申し込みできます。

〒500-8875  
岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル7F  
(株) 中日アド企画 岐阜支社「養老新能事務局」宛